

**ジャヌビア錠 12.5mg**  
**ジャヌビア錠 25mg**  
**ジャヌビア錠 50mg**  
**ジャヌビア錠 100mg**

**【この薬は？】**

販売名	ジャヌビア錠 12.5mg JANUVIA Tablets 12.5mg	ジャヌビア錠 25mg JANUVIA Tablets 25mg	ジャヌビア錠 50mg JANUVIA Tablets 50mg	ジャヌビア錠 100mg JANUVIA Tablets 100mg
一般名	シタグリプチンリン酸塩水和物 Sitagliptin Phosphate Hydrate			
含有量 (1錠中)	シタグリプチン として12.5mg	シタグリプチン として25mg	シタグリプチン として50mg	シタグリプチン として100mg

**患者向医薬品ガイドについて**

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

**【この薬の効果は？】**

- ・この薬は、糖尿病用薬の中の、選択的 DPP-4（ジペプチジルペプチターゼ 4）阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血糖値を調節するホルモンであるインクレチンを分解する酵素を阻害し、血糖値に応じてインスリン（血糖を下げる働き）の分泌を促進するなどして、血糖コントロールを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

**2 型糖尿病**

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったらうえて効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にジャヌビア錠に含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
- ・重いケトosis状態（悪心、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1型糖尿病（インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
- ・重い感染症にかかっている人、手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎臓に中等度の障害がある人、腎臓に重い障害がある人、血液透析や腹膜透析を必要とする末期腎不全の人
- ・他に糖尿病用薬（特に、インスリン製剤、スルホニルウレア剤または速効型インスリン分泌促進薬）を使用している人
- ・脳下垂体機能に異常のある人、副腎機能に異常のある人
- ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
- ・激しい筋肉運動をしている人
- ・飲酒量が多い人
- ・高齢の人
- ・過去に腹部を手術したり、腸閉塞になったことがある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ジャヌビア錠 12.5mg	ジャヌビア錠 25mg	ジャヌビア錠 50mg	ジャヌビア錠 100mg
通常 1 回量	4 錠	2 錠	1 錠	
最大 1 回量	8 錠	4 錠	2 錠	1 錠
飲む回数	1 日 1 回			

腎臓に中等度の障害がある人は、通常量は 1 回量 25mg、最大量は 1 回量 50mg、腎臓に重い障害がある人、血液透析や腹膜透析を必要とする末期腎不全の人は、通常量は 1 回量 12.5mg、最大量は 1 回量 25mg です。

### ●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して 2 日分を一度に飲まないでください。気がついたときに、できるだけ早く飲み忘れた分（1 日分）を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は飲み忘れた分をとばして、次の日に 1 日分を飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・副作用として低血糖症状（脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、意識がうすれるなど）があります。このような症状が認められる場合は、通常は糖質を含む食品や砂糖をとってください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース等）を併用している場合は、ブドウ糖をとってください。この薬を使用する前に、患者さんやご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで医師または薬剤師から説明を受けてください。
- ・インスリン製剤、スルホニルウレア剤または速効型インスリン分泌促進薬と併用した場合、低血糖症状が起こりやすくなるため、医師の判断で、インスリン製剤の使用量やスルホニルウレア剤または速効型インスリン分泌促進薬の飲む量が減らされることがあります。低血糖症状の一つとして意識消失を起こす可能性もありますので、糖尿病用薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を 3 ヶ月使用しても十分に効果が得られない場合は、治療が変更される場合もあります。
- ・不養生や感染症の合併などにより薬が十分に効かなくなることがあります。

- ・腎臓に障害のある人は、この薬を使用中、定期的に腎機能の検査が行われることがあります。
- ・急性膵炎（初期症状として、持続的なおなかの激しい痛み、嘔吐など）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・自動車の運転中や高所作業中などに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


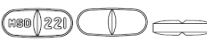


重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー反応 アナフィラキシーはんのう	ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、まぶたや眼のはれや充血、唇や口内、陰部のただれ、赤い発疹
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	発熱、全身の発赤、皮膚がはがれおちる
低血糖 ていけつとう	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸、空腹感、手足のふるえ
肝機能障害、黄疸 かんきのうしょうがい、おうだん	からだがだるい、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、尿が褐色になる
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、眼がはれぼったい、からだのむくみ、意識の低下、尿量が減るまたは尿がない
急性膵炎 きゅうせいすいえん	発熱、吐き気、嘔吐、急に激しくおなかが痛む、急に激しく腰や背中が痛む
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	から咳、息苦しい、息切れ、発熱
腸閉塞 ちようへいそく	嘔吐、むかむかする、排便・排ガスの停止、激しい腹痛
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	筋力低下、筋肉の痛み、赤褐色尿

重大な副作用	主な自覚症状
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
類天疱瘡 るいてんぼうそう	水ぶくれを伴う皮疹

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、発熱、脱力感、冷や汗、からだがだるい、からだのむくみ
頭部	めまい、頭痛、意識の低下
顔面	ほてり、鼻血
眼	まぶたや眼のはれや充血、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい
口や喉	しゃがれ声、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐、から咳
胸部	息苦しい、息切れ、動悸、吐き気、むかむかする
腹部	空腹感、食欲不振、吐き気、急に激しくおなかが痛む、むかむかする、激しい腹痛
背中	急に激しく腰や背中が痛む
手・足	手足のふるえ
皮膚	じんましん、赤い発疹、全身の発赤、皮膚がはがれおちる、かゆみ、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血、水ぶくれを伴う皮疹
筋肉	筋力低下、筋肉の痛み
便	排便・排ガスの停止
尿	尿が褐色になる、赤褐色尿、尿量が減るまたは尿がでない
その他	陰部のただれ、出血が止まりにくい

## 【この薬の形は？】

販売名	ジャヌビア錠 12.5mg	ジャヌビア錠 25mg	ジャヌビア錠 50mg	ジャヌビア錠 100mg
形状	円形の錠剤  表面 裏面 側面	長円形の錠剤 (割線入り)  表面 裏面 側面	長円形の錠剤 (割線入り)  表面 裏面 側面	円形の錠剤  表面 裏面 側面
直径	6.1mm	長径：9.1mm 短径：3.8mm	長径：11.5mm 短径：4.8mm	9.8mm
厚さ	2.7mm	2.5mm	3.1mm	4.2mm
重さ	104mg	105mg	209mg	416mg

販売名	ジャヌビア錠 12.5mg	ジャヌビア錠 25mg	ジャヌビア錠 50mg	ジャヌビア錠 100mg
色	明るい灰色	うすい赤黄色	ごくうすい 赤黄色	うすい赤黄色
識別コード	MSD 211	MSD 221	MSD 112	MSD 277
PTPシート				

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	ジャヌビア錠 12.5mg	ジャヌビア錠 25mg	ジャヌビア錠 50mg	ジャヌビア錠 100mg
有効成分	シタグリプチンリン酸塩水和物			
添加物	結晶セルロース、無水リン酸水素カルシウム、クロスカルメロースナトリウム、フマル酸ステアリルナトリウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、酸化チタン、マクロゴール4000、タルク、黄色三二酸化鉄、黒酸化鉄	結晶セルロース、無水リン酸水素カルシウム、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、フマル酸ステアリルナトリウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、酸化チタン、マクロゴール4000、タルク、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄		

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社:MSD 株式会社 (<http://www.msd.co.jp>)

MSD カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル:0120-024-964

受付時間:9:00～17:30

(土日祝日・製造販売会社休日を除く)